

11月1日は静岡市「お茶の日」です



なぜ11月1日なの？



11月1日は静岡市(美区^{とちざわ}栢沢)出身の「静岡茶の祖」と言われる聖一^{しやういち}国師^{こくし}の生誕の日です。新茶の時期だけでなく、一年を通してお茶に親しんで欲しいとの願いが込められています。



聖一^{しやういち}国師^{こくし}肖像

(写真提供 大本山東福寺)



静岡市のお茶



静岡市の茶畑

聖一^{しやういち}国師^{こくし}はこんなにすごい人！

1 みんなが飲んでいる静岡茶の祖

建仁2年(1202)駿河国安倍郡栢沢(静岡市)に生まれ、仏教の修行にいていた宋(現在の中国)から持ち帰ったお茶の種を葵区足久保に播いたのが、静岡茶の始まりだと言われています。

2 京都 東福寺などを開山

紅葉の名所としても有名な東福寺(京都府)や博多祇園山笠発祥の地・承天寺(福岡県)を開山しました。

3 中国の進んだ文化を日本に広めた

宋より千巻に及ぶ巻物を持ち帰り、当時の中国の進んだ文化(水車・製粉機、そば・うどん、まんじゅう、人形など)を日本に伝えました。

お茶のまち静岡市

1 全国有数の茶産地

静岡市には「静岡本山茶」「清水のお茶」があり、歴史が古く、多くの茶畑やささまざまなお茶がある全国有数の茶どころです。

2 お茶の集散地

静岡市は全国からお茶が集まるまち、茶商さんが多いまちです。

3 お茶の条例のあるまち

「静岡市めざせ茶どころ日本一条例」を制定し、魅力ある「お茶のまち」をめざしています。



静岡市「お茶の日」が決まるまで

平成21年4月 静岡市めざせ茶どころ日本一条例施行
※条例第9条第1項 抜粋

静岡のお茶に親しみ、静岡のお茶の伝統、文化、産等業について理解を深め、その魅力を国内外へ発信するため、お茶の日を設ける。



平成22年3月 静岡市「お茶の日」制定！



「お茶の日」には…

○お茶でホッとひと息

お茶は、人をホッとさせます。お茶の日には、家族や友人とお茶を飲んでホッとした時間を楽しみましょう。

○お茶のまち静岡市を楽しもう

静岡市はお茶の産地であり、集散地です。いろいろなお茶の楽しみを見つけ、お茶のまちを楽しんでください。